

受審者からひとこと

ISO14001認証取得にあたって

株式会社A Tビジネス
ISO推進事務局
大矢陽基

1. 会社紹介

A Tビジネスは、自動車ディーラーである愛知トヨタ自動車株式会社（以下、愛知トヨタ）を中核とする13社のグループ内間接業務を集約した会社で、2007年10月より業務を開始いたしました。

当社の組織は、グループ各社の人事・総務・経理業務を担う「管理業務本部」、自動車ディーラーの車両登録・所有権解除・保険事務・継続車検事務を担う「販売店支援本部」、新車の保管・納車準備や中古車の保管・商品化を担う「物流本部」の3本部制をとっており、グループ各社が営業や企画などの本業に専念できるよう、『グループ貢献』をスローガンに掲げ、業務の統一化・効率化に取り組んでいます。

2. 導入の背景

この度認証を取得した「物流本部」は、当社設立以前には愛知トヨタに所属しており、同社にて2004年2月にISO14001認証を取得しておりました。しかしながら、同社の持ち株会社化に伴いA Tビジネスとして分社化された為、新たにA Tビジネスとして認証取得すべきか検討いたしました。A Tビジネスのグループ内における役割や内部統制制度への対応、これまで維持・継続してきたISO14001の考え方・手法が、当社の成長・発展に繋がるとの経営判断にて、認証の取得を目指す事となりました。

3. 認証取得への取組み

2009年1月の当社役員会審議を得て、ISO推進事務局を立上げ、2010年2月の認証取得を目標にキックオフいたしました。推進体制は、代表取締役社長を経営責任者とし、以下環境経営責任者・環境対応統括責任者・内部環境監査者などを役員に担当いただき、推進事務局3名および物流本部若干名で取り組みました。

キックオフ当初は、推進事務局の2名が内部監査員の資格取得より開始した事もあり、「環境方針」・「環境マネジメントマニュアル」の策定に苦勞し、愛知トヨタのISO事務局に指導を仰ぎながらの策定となりましたが、受審サイトにおいては、これまでの経験を通じてスムーズに環境側面の抽出や影響評価、マニュアル類の整備などを実施し、概ね計画通りに進捗する事ができました。

2009年9月中旬から10月上旬にかけては内部監査を実施し、11月初旬には文書審査、12月初旬には本審査を受審し、2010年1月8日に認証を取得する事ができました。

4. システム導入のメリット

今の日本において、環境問題は非常にセンシティブであると認識しており、認証の取得がグループ各社およびお客さまからの信頼を勝ち取る手段の一つだと思っています。一方でこのシステムは、これまでの自分たちの業務を様々な視点でチェックし改善する活動であり、環境マネジメントシステムをバイブルとし、全員でP・D・C・Aのサイクルを回すことで、「将来の環境負荷の軽減」、「業務の効率化」、「事業の永続性」など経営にも役立つものと確信しています。

5. 今後の活動

これまで私どもは、水質汚濁・騒音・廃棄物処理などの環境側面を意識して、目標設定を行い取り組んでまいりましたが、審査の折に「通常業務と別立てで、ISOに取り組んでいる」とのご指摘をいただき目から鱗が落ちる思いをいたしました。ISOにて取組む省エネルギーを含めた環境活動は、当社のコスト削減に繋がり、延いては経営に寄与するプラスの側面となります。今後は、この考え方を全員で共有し、通常業務の一貫としてISOに取り組み、より一層のレベルアップを図ってまいります。

最後に、今回の認証取得にあたり、ご指導・ご鞭撻いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。